

## 56 ヨハネ 17 章 6-20 節

※今日は続けて、イエス様の祈りである 17 章と一緒に学んでみましょう。

今日の箇所を簡潔に表現すると、6 節にある「あなたが世から選び出して与えて下さった人たち…」についての祈りと言えるでしょう。

〈まずは、親しい 12 人をはじめに、近しい弟子たちのための祈り〉…

1、その人たちに「わたしはあなたの御名を現しました」とはどういうことでしょうか？

・ものみの塔（エホバの証人）の方々の言うような「エホバ」の名前を教えられたということでしょうか？

※この「現しました」とは「明らかにした」ということです。ではどのように明らかにしたのでしょうか？

「神のわざを行うことによってです」。ヨハネの福音書にも、イエス様が神から遣わされた方、つまりメシヤであるというしるし、証拠としての奇跡について 7 つの奇跡が行われているとも言われています。それでイエス様は、ご自分があの出エジプト記の 3:14 で言われた主ご自身であると宣言されたのです (8:28,58)。

するとどうでしょう、多くのユダヤ人たちは信じませんでした。弟子たちはイエス様の言葉を受け入れ、イエスが神から遣わされた方であることを信じました。そして知りました。(7.8)

2、イエス様はその弟子たちのための祈りをされました。どんなことを祈られたのでしょうか？

① (11)

② (13)

③ (15)

④ (17)

3、このイエス様の祈りの言葉の中に、私たちが心に刻んでおかなければいけない真理があります。16 節の御言葉を書き記しましょう。

※ですから、守りの祈りが必要だったのです。そしてこの世の者でないということは、天国に属する者であるというので、それを覚えて怖く、辛く、大変な中でも喜びが満ちあふれるようにと祈られたのです。そしてそれがゆえに、この世から「聖別」される必要があるのです。

4、この祈りは、その当時の弟子たちのためだけの祈りではありません。後に来る私達のための祈りでもあります。20 節を書き記し心に留めましょう。

※イエス様が自分のためにもこのように祈ってくださったということ覚えて「感謝」とともに「それが自分のものとなるよう」祈りの時を持ちましょう。

5、このところから神様（父、子、聖霊）はどのようなお方でしょう。